

第18回川でつながる発表会

■主催 新河岸川流域川づくり連絡会

2月26日（日）に「第18回川でつながる発表会」を開催しました。新河岸川流域内で活動している小学生から大学生が、水質や生き物、環境等を対象にした様々な学習・研究等の活動成果を発表いただき、世代を超えた交流を行いました。

開催概要

開催日時	令和5年2月26日（日） 10:00～16:30
開催場所	荒川下流河川事務所
参加人数	最大60名

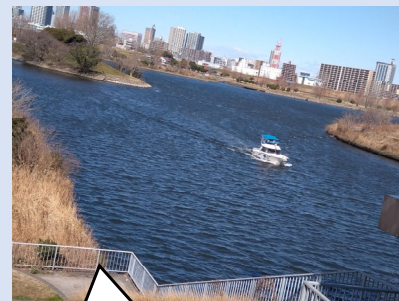
プログラム

10:00	開会挨拶
10:10	①見学会 乗船体験、岩淵水門、荒川知水資料館amoaを見学しました。
13:00	②発表会 新河岸川流域で活動する学生や先生方から、日頃の学習や取り組みの成果について発表いただきました。
14:55	③交流会 市民団体から日頃の取り組みについて発表があり、発表内容をもとに参加者同士で質問や意見交換、課題の共有等、交流を行いました。
16:15	閉会式・表彰式・記念撮影

①見学会

新河岸川流域の洪水対策、流域治水などの取り組みを学びました。

■乗船体験



船上から流域治水の取り組みについて学びました。

■岩淵水門



災害時の水門の操作や役割を学びました。

■荒川知水資料館amoa



荒川の歴史や施設について学びました。

第18回川でつながる発表会

■主催 新河岸川流域川づくり連絡会

②発表会

新河岸川流域で活動する学生や教諭の皆さんが日頃の学習や取り組みの成果を発表しました。発表後には、流域で活動する市民団体の方から、今後の活動の励みになるようなコメントをいただきました。

参加者の方には、3色（桃色：よくわかった、黄色：ためになった、緑：共感した）の色紙を用いて、発表を聞いた感想を伝えていただきました。

自由学園最高学部 (大学部)



校内を流れる立野川に残された自然河岸の保全を考える
-3年間の河道横断測量結果から-
測量作業の様子や立野川の河岸の変化、今後のシミュレーションについて発表いただきました。

北川かっぱの会



北山わんぱく夏まつりでのボランティア体験

北川かっぱの会の概要や子どもの頃の自然環境と河川への興味との関係について発表いただきました。

北区立岩淵小学校 校長先生



岩淵小学校発「荒川フィールド学習」

岩淵小学校の児童の皆さんは、繰り返し荒川に学び、荒川に親しみを持っていることを発表いただきました。

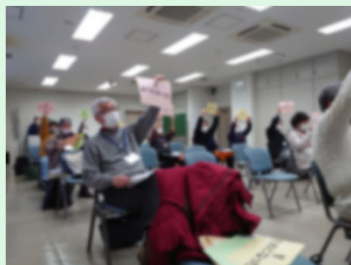
法政大学 水文地理学研究室



身近な水環境の全国一斉調査の水質分析結果から見た新河岸川流域の地域特性 (11)

全国水質一斉調査や発表会当日の荒川や新河岸川の水質の分析結果を発表いただきました。

参加者



コメンテーター

各発表者に対する質問やコメントをいただきました。



第18回川でつながる発表会

■主催 新河岸川流域川づくり連絡会

③交流会

新河岸川流域の市民団体や自治体等によるパネルの展示、VRや水質分析の体験等を通じ、参加者同士で質問、意見や情報の交換等、活発に交流しました。



- ・エコシティ志木
- ・空堀川を考える会
- ・北川かっぱの会
- ・白子川源流・水辺の会
- ・新河岸川水系水環境連絡会
- ・砂川堀流域川づくり懇談会
- ・和光自然環境を守る会
- ・東久留米市立第二小学校

市民団体・学校ブース



荒川下流河川事務所



法政大学



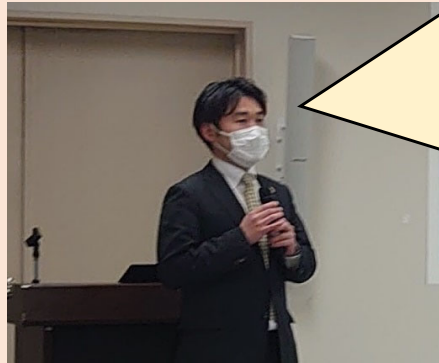
新座市・西東京市

第18回川でつながる発表会

■主催 新河岸川流域川づくり連絡会

閉会式・表彰式・記念撮影

荒川下流河川事務所の所長から、発表いただいた皆さんに対して表彰状が送られました。



荒川下流河川事務所
所長のコメント

気候変動は、環境にも変化を与えますが、多くの方が環境に興味を持ち、川に親しんでもらえるような川であってほしいと思います。そのような魅力ある地域を我々も皆さんと一緒につくっていきたくて考えています。新型コロナウイルス感染症の制限も緩和されてきており、リアルの良さを実感しながら、より良い未来に向かって進んでいくと良いと思います。



総括コメント

新河岸川水系水環境連絡会 代表

今日は、川を通じて地域の方とつながっていることを感じることができました。遊びの遺伝子や流域での活動は、発表いただいた皆さんのように次の世代につながっていて、今後もっと広がってほしいです。また、流域で活動する団体のことを多くの方に知ってもらえると良いと思いました。



表彰式



記念撮影